

# DREAM



# はじめに

サイキックスです。

レポートを手にとって頂き有難うございます。

当レポートでは

「私が具体的にチャートを開いてから

どう分析しているのか」を初心者が

「これをみた次の日からできる」

ように解説してきます

次のページの私の分析で一番大切なことを

まとめましたので、もしあなたが

「本気でバイナリーで生活していきたい」

そう考えているのならば

**必ずスクショを行い、**

**お使いのPC、スマートフォンの壁紙にするか**

**印刷して常に見えるようにしておいてください。**

**ノートに書き写しても良いでしょう。**

# チャート分析の流れ

大きな相場環境認識を行う  
(トレンド2種/レンジ4種)

季節特性/時間帯的特性/売買情報  
から最終的なエントリーを決める

3つの時間足で  
明確な圧力を探し出す (ライン引き)

ローソク足/サイクル/高安の切り上げ下げ  
チャートの形  
「チャートの単位」ごとの分析を行う

プライスアクションを見て  
最終的なエントリーを決める

# はじめに

レポートを全て読んでられない方も  
いらっしゃると思うので  
1ページに私のライントレードの基本的な考えを  
全て凝縮してまとめておきましたが、

それについて3つのフェーズで1つずつ  
丁寧に解説していきますのでご安心ください。

## 当レポートの流れ

SAIKIX LINE TRADE

### 準備

最適なトレード  
環境を構築

### 実践

相場環境を  
学ぶ

### マインド

あなたを  
勝ちトレーダー  
にする心構え

それぞれ順を追って丁寧に解説していきます

# 勝ちトレーダーの環境

それでは本編の準備編に入っていきます。

これからお伝えすることは

「勝ちトレーダーと同じトレード環境」を  
あなたのPCの中に作る作業  
になります。

チャートを見る上で一番大切なこと。

それは時間的特性とローソク足に  
全神経を集中できる環境を構築することです。

工程は全てで5つありますが、どれも今すぐにも  
行なっていただけます。

- ①チャートを広く捉える
- ②色設定の変更
- ③グリットの非表示
- ④インジケータの削除
- ⑤サイキオリジナルインジケータの導入

# 相場を広く捉える

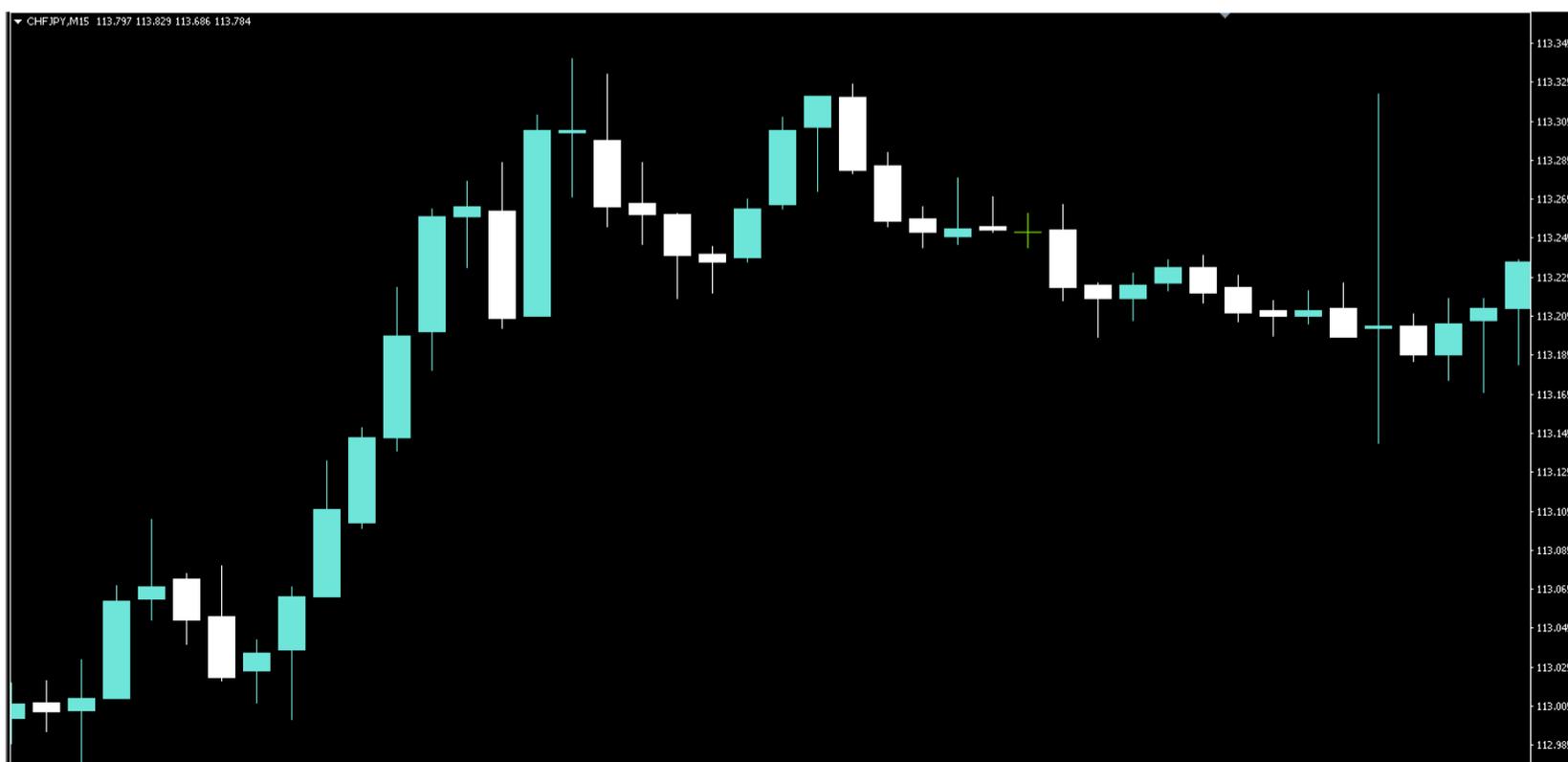
チャートを広く捉えましょう。

目安としてヒゲと実体の識別ができる最小単位  
(MT4の物理的な最小サイズから2回拡大クリック  
された状態になります。)

## 良い例



## ダメな例



# 色設定を変更し グリッドを非表示

良い例 次ページに具体的なやり方記載



ダメな例



MT4メインチャートを  
右クリック→プロパティ（色の設定）すると  
以下の画面が出てきます。



ローソク足や画面の色はなんでも良いですが、  
「グリッド」…現在価格のラインを表示する色  
「ラインチャート」…実体のないローソク足  
（十字線, トンカチ, 塔婆）を表示する色

この2つだけは重要ですので目立つ色にしましょう。  
また上記は私の色の設定ですのでご参考までに

先ほどの色の設定画面から「全般」  
をクリックすると  
以下の画面が出てきます。

色の設定 **全般**

オフライン・チャート  
 チャートを前面に表示  
 チャートの右端移動  
 チャートの自動スクロール

スケールを1対1に固定  
 スケールの固定  
111.880 上限設定  
111.200 下限設定

バーチャート  
 ロウソク足  
 ラインチャート

四本値表示  
 Askのラインを表示  
 期間区切り表示  
 グリッドの表示  
 出来高の表示  
 ライン等の説明を表示

OK キャンセル リセット

グリッドを非表示にします。  
これで先述の良い例のような画面になります。

# インジケータを全て外し削除

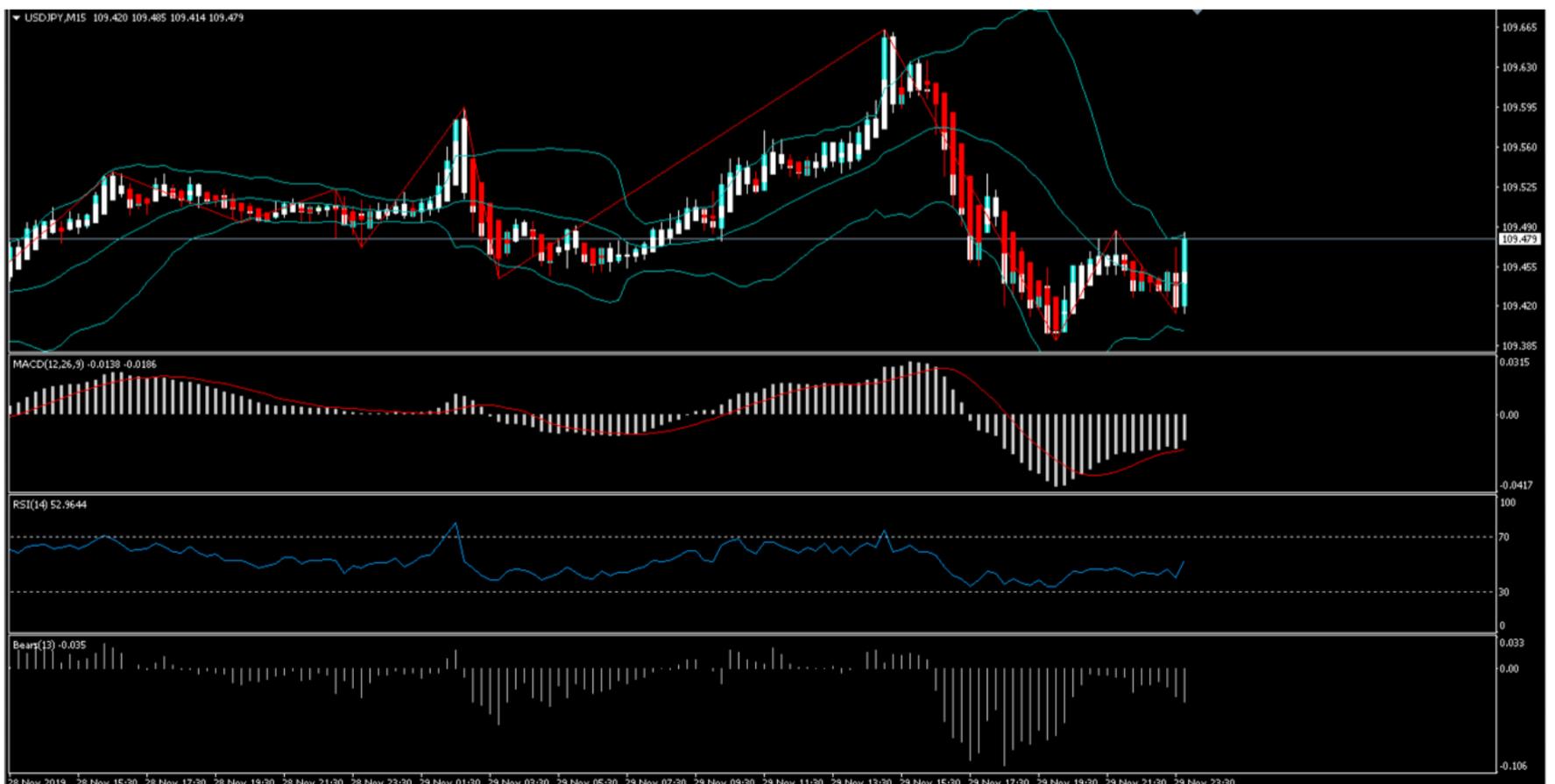
今いれているインジケータを全て消しましょう。

過去有料で買った教材やツールも  
一旦全て消しましょう。

## 良い例

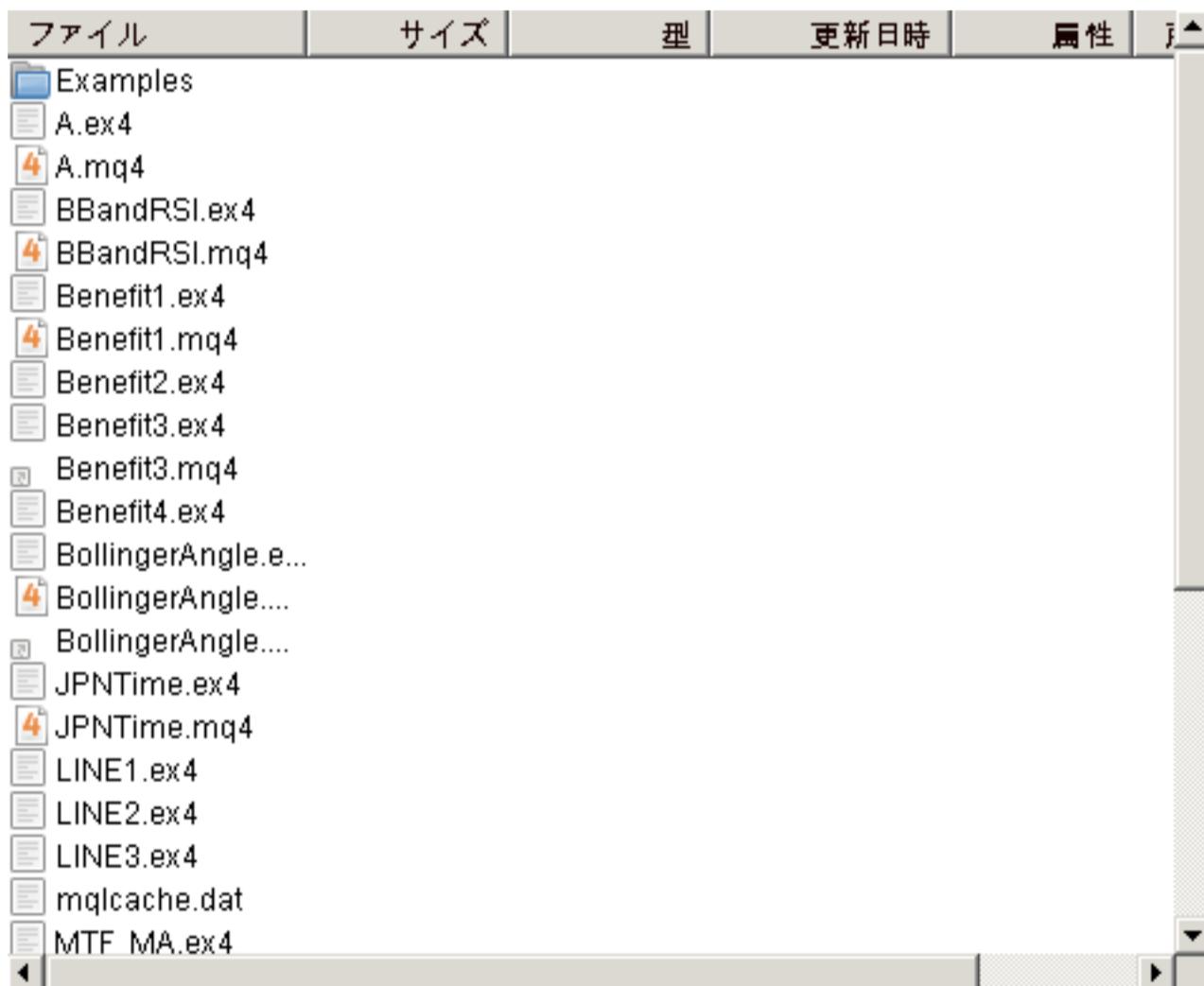


## ダメな例



# インジケータを全て外し削除

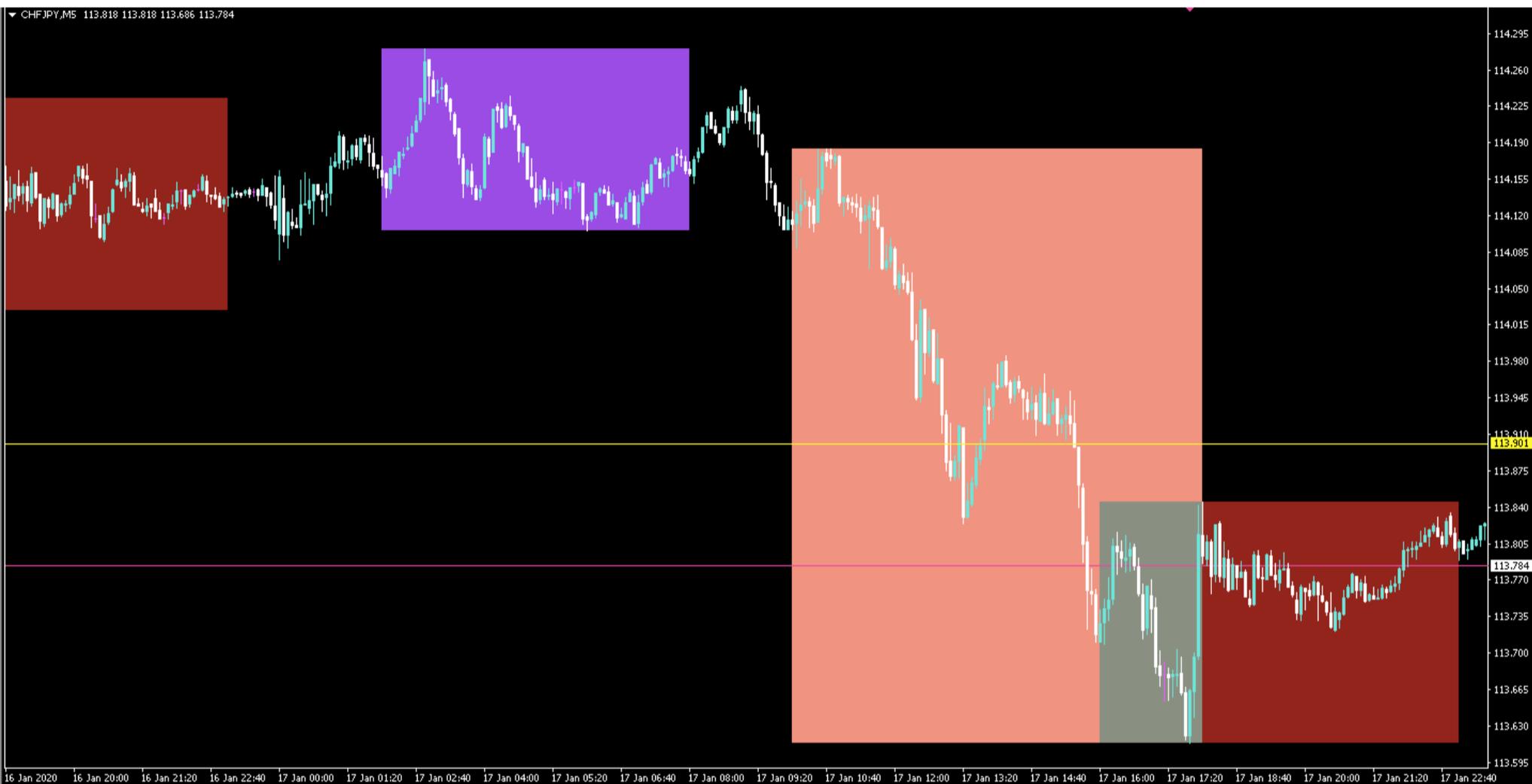
ファイル→データフォルダを開く  
→MQL4→indicatorから  
カスタムインジケータを全て削除



無料のインジケータなどを導入されていたり  
初期で搭載されているインジケータがありますが  
いれすぎていると、**MT4の動作が重くなり**  
**ローソク足が正しく更新されないことがあるので**  
出来るだけインジケータは厳選しましょう

# 裁量補助インジケータ導入

私が開発した裁量トレードを補助するインジケータがあるのでそちらを導入しましょう。



東京、ロンドン、NYの市場ごとに  
色分けボックスを表示（高安を基準）  
前日高値安値を自動表示してくれる  
インジケータになります。

無料配布しており、こちらからダウンロードできます  
（公式サイトにも記載しています）

<http://bit.ly/2Fv2LVq>

# 最短最速で勝ちトレーダーになるための 究極的な方法は

**「相場の特徴を掴むことである」**

あなたは相場の世界へ入り、学ぶ途中で

いろいろなサイトや動画を見て

**魔法の手法、インジケーター、聖杯ツール**

などにいろいろな手法に出会うでしょう。

が、本質的にはこれらは一切必要ありません

これからこのレポートで

お伝えする全ての内容は

**「相場の特徴を掴む」**にはど売れば良いか？

お伝えすることになります。

相場の特徴を掴むためにはどうすれば良いか？

第一段階として

なぜ相場でどんなことが起こっているのか？

という

「相場状況を仕組みを理解すること」

が必要です。

これを相場環境認識と呼びます。

相場環境認識は全ての手法の土台となり、

相場環境を学ぶことこそがあなたが  
まず最初にやるべきことです。

# トレンドとレンジの種類

これでローソク足に全神経を集中できる環境を構築できました。

それでは、実践篇に入っていきます。

相場環境というと

「トレンド」と「レンジ」で分けて考えてあげるのが一般的ですね。

ただ厳密には大きく分けて

トレンドには2種類、レンジには4種類の合計 6種類あると考えています。

# トレンドとレンジの種類

## トレンド2種

- ブレイクアウト相場
- トレンドチャネル相場

## レンジ4種

- ボックスレンジ型相場
- 収縮型レンジ型相場
- 拡散型レンジ型相場
- 爆発型レンジ型相場

# トレンド相場の段階

SAIKIX LINE TRADE

初動

バイナリーなら  
捨てるべき

安定

余力を考えて  
選択すべき

終焉

妥当な終焉  
であるのか  
を考えるべき

トレンド相場には3つの段階があり、それぞれ最適なエントリーが異なる

# レンジ相場の種類

SAIKIX LINE TRADE

ボックス



収縮型



拡散型



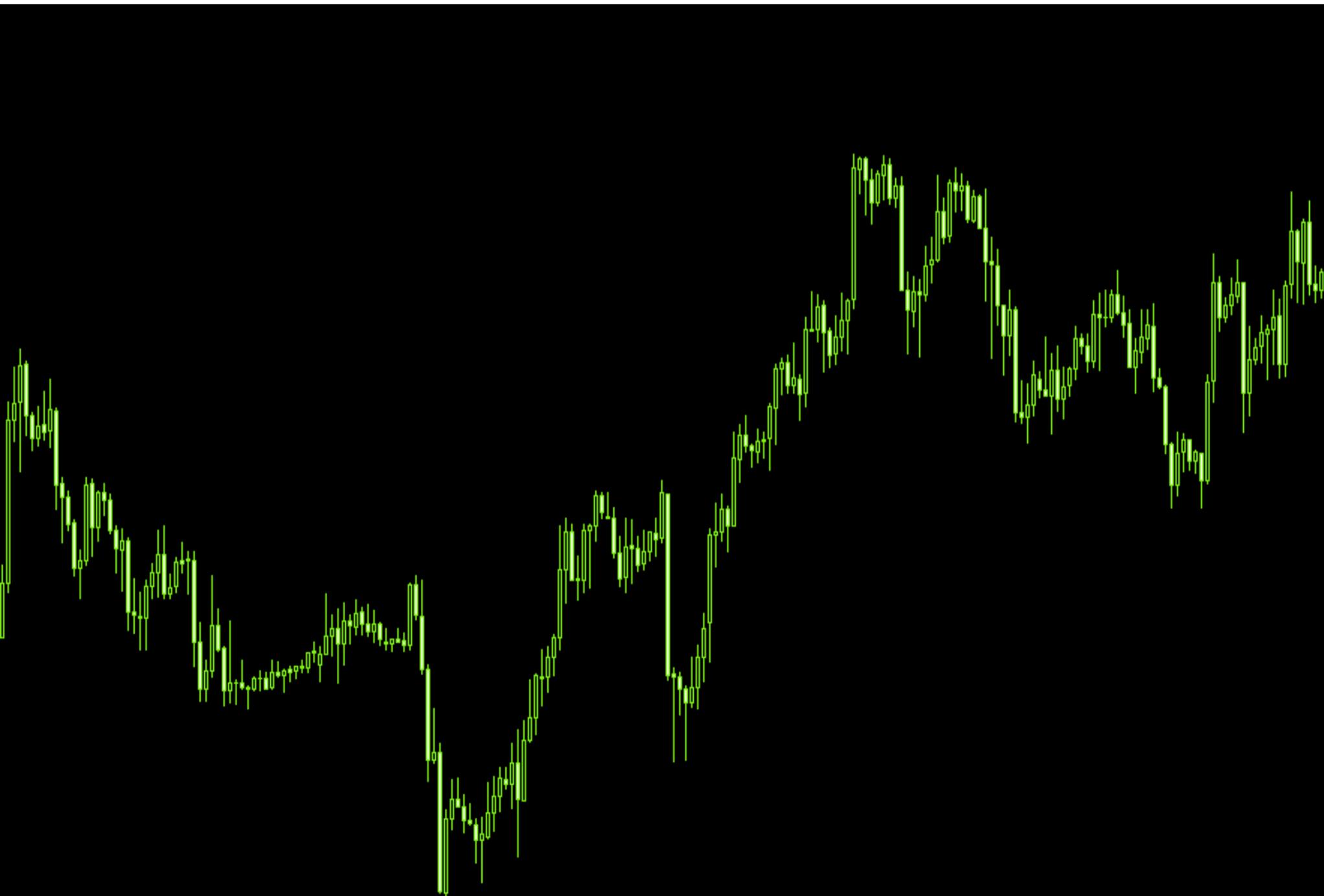
爆発型



レンジ相場には4種類あり、それぞれ最適なエントリーが異なる

# ブレイクアウト相場とは？

ブレイクアウト相場は  
トレンドが強すぎる相場、  
一方向へ長いローソク足（急騰/急落）が  
頻出する相場を指します。



# トレンドチャネル相場とは？

押し目をつけて

規則的に上昇（下降）しているトレンド相場

押し目とは？...

上昇した後で一時的に下落すること（上昇相場の場合）



# トレンド2種の見極め

ブレイクアウト相場と  
トレンドチャネル相場の決定的な違いは  
「持続性のトレンドか否か」  
ということです。

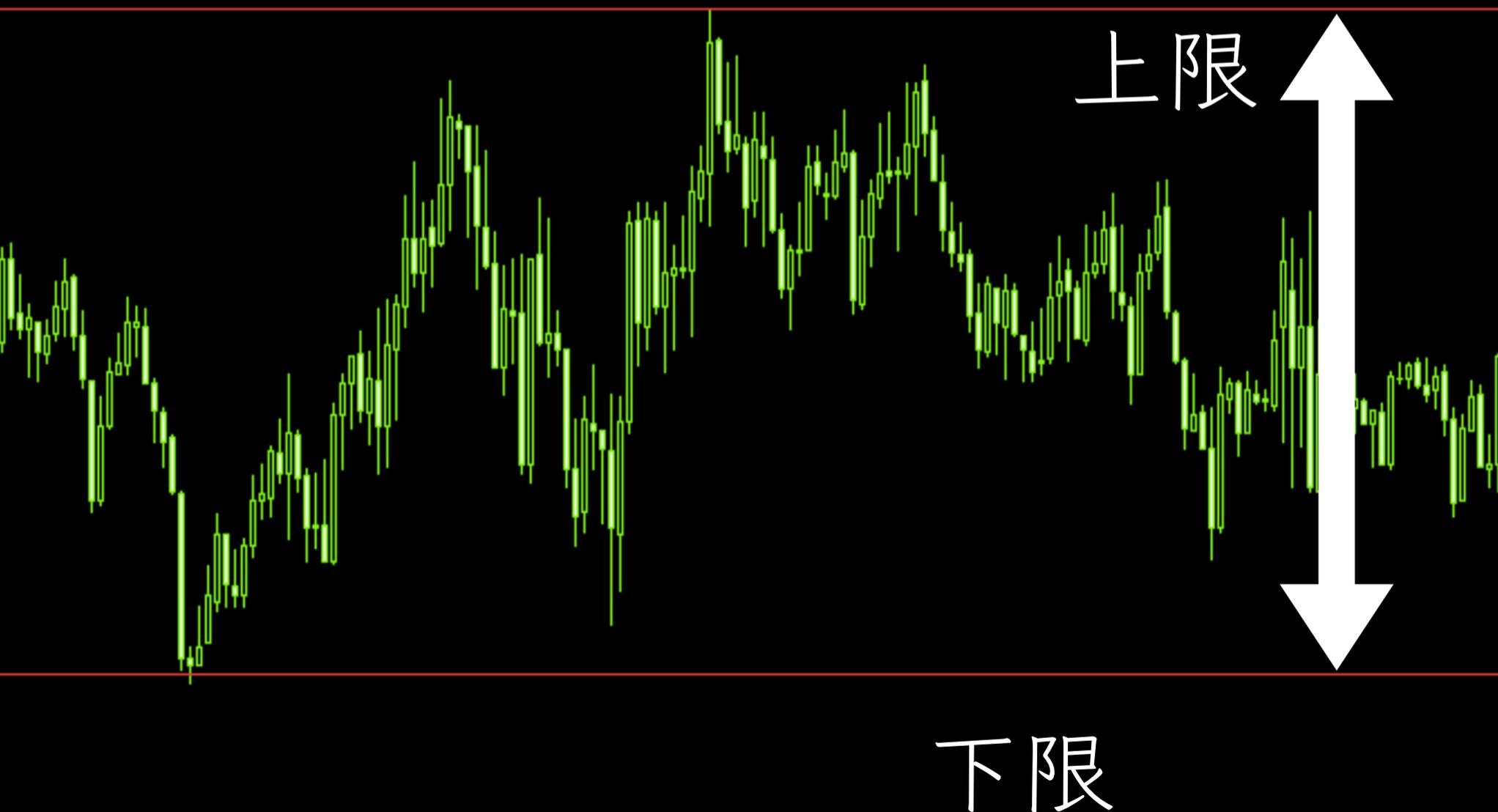
ブレイクアウト相場は  
強いローソク足が頻出するものの、  
短期間でトレンドが終わりやすい  
という傾向があります。

それに対し、トレンドチャネル相場は  
押し目をつけて、  
トレンドが持続しやすい傾向にあります。

# ボックスレンジ相場とは？

一定の変動幅の範囲内で株価が上下する相場

ボックスレンジ相場は、一番ベーシックな上限と下限がわかりやすく意識され、その中で価格が推移しているタイプのレンジとなります。RSIやストキャスティクス等のオシレーターが一番能力を発揮するのは、このボックスレンジ相場です。



相場においてレンジ相場は7~8割を占めます。

# 収縮型レンジ相場とは？

収縮型レンジ相場は、前の段階で作られたトレンドや大きな値動きが落ち着き、収縮していく過程で作られるレンジです。



# 拡散型レンジ相場とは？

拡散型レンジ相場は、高値切り上げ、安値切り下げを同時にお越し、ローソク足が拡散したような動きを見せるレンジ相場です。

FXでもバイナリーでも

エントリーしない方が良い相場になります。



# 相場認識が必要な理由

今までざっくりと

「トレンド相場かな？レンジ相場かな？」

ぐらいで相場を見られている方が

非常に多いと思います。

結果として

**その判断が大きく負けに繋がること**

を自覚してください。

**最低限これらの特性を判断できないと**

**勝てる手法を確立することはできません。**

手法にはそれぞれ

優位性のある相場が決められているからです。

# 相場認識が必要な理由

巷のバイナリーやFXでよく使われているインジケータのボリンジャーバンド、またはRSIやストキャスなどのオシレーターはある相場では、全く使い物になりません。

そう、ブレイクアウト相場です。

何故ならば、これらのインジケータは過去の一定の期間のローソク足を基準に導き出されます。

例えば「ボリンジャーバンドの $3\sigma$ （シグマ）内で跳ね返る可能性が**99.73%**以上である」という話は非常に有名で聞いたことある方もいらっしゃるかと思います。

# 相場認識が必要な理由

しかし ボリンジャーバンドが計算しているのは  
過去ローソク足20本分の理論値のため  
(※期間20の場合)

全体的な相場には当てはまりませんし、  
ブレイクアウト相場が発生していると  
**理論値を無視した、バンドウォーク**  
という状況が発生します。

バンドウォーク参考画像



# 相場認識が必要な理由

つまり、一定期間同じような  
ボラティリティ（変動幅）である  
ボックスレンジ相場では機能することが多いですが

ブレイクアウト相場のように  
ローソク足1本あたりの大きさが  
極端にばらつきがあり、

**強いトレンドが発生しているような相場では  
正確な数値を出すことができません**

ボックスレンジ相場ではボリバンが効きやすけど  
ブレイクアウト相場では使い物にならない

これ1つ知っていただくだけで  
ご自身の手法でもこれから発生するであろう  
**負けを大きく減らすことができます。**

# 相場認識が必要な理由

もしあなたが、MT4に元々あるインジをデフォルトのままですべて使っていたら資産を減らしてしまうのでやめましょう。

なぜならば、その手法は出来高を考慮していなかったり、その他様々な相場環境を考慮されていないものがほとんどだからです

**相場環境を見極め、自分の手法がどの相場が一番優位性があるのか**を考えるだけで勝率は上がるでしょう。

# 優位性のある手法の条件

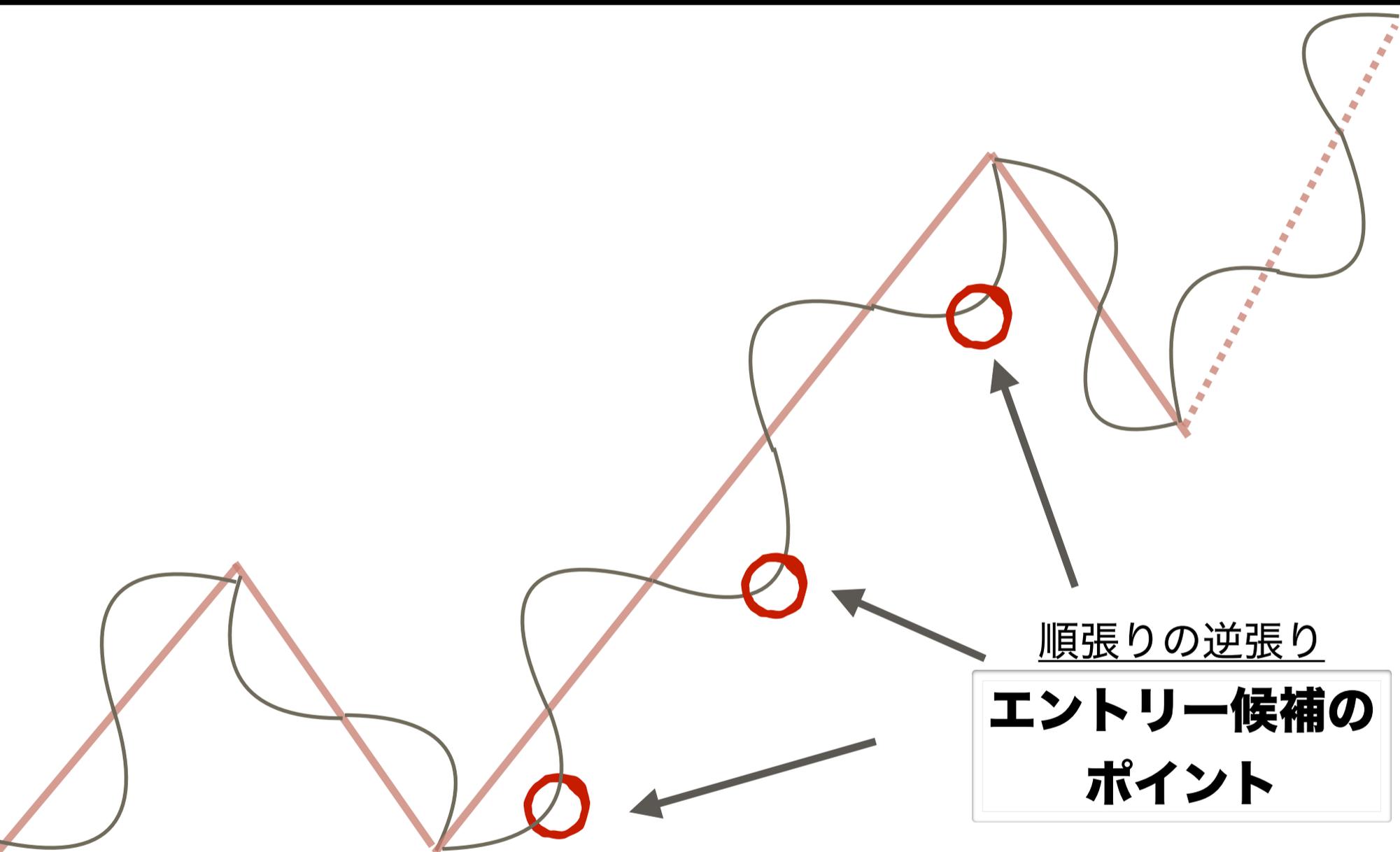
私が考える優位性のある手法というのは  
以下の7つの条件を全て  
満たしたものになります。

- ボラティリティ（変動幅）を考慮している
- 曜日特性、時間的特性を考慮している
- 通貨特性を考慮している
- 手法の仕組みを理解している
- 客観的根拠に基づいている
- インジの場合は大体の計算式を把握している
- 過去のバックテストによって立証されている

# 例 Benefit ロジックの基本構造

ビジュアル的に掴みづらいかもかもしれませんが、  
チャートの構造というのは、  
このように捻り、調整を重ねながら作られていきます。

(※上昇トレンド発生時の場合)



大きなトレンドには逆らわずに、  
大衆の損切りや心理的な攻防によって  
買い支え（売り支え）が起こりやすい  
明確な調整局面をピンポイントで狙うロジック

# 優位性のある手法の条件

例えば、これは私の開発したツール「Benefit」のロジックを**ビジュアル化**したものになります。

自分の手法を

明確にビジュアル化した時に、文字にした時に  
どんな質問をされても、一言もつっかえずに  
どの相場環境で、どんな時間的な特徴の時に  
どのような優位性があるのか

それらはバックテストを何年分にとって  
どれくらいの勝率があるのか？  
フォワードテスト（実践）では  
どれくらいの勝率なのか？

はっきり答えられない限り、  
それは優位性のあるロジックではありません。

# 損益分岐点の算出を行おう

バイナリーをやっている9割以上は、負けています。

本来、投資とは0.1%単位でも

勝率や利率を追求していくものです。

銀行の定期預金なんかも、0.1%でも高い金利がもらえるところを選択するかと思います。

であるのにも関わらず、

自分はどれくらいの**勝率**で**損**をして、

どれくらいの**勝率**で**利益**を上げられているのかを

一切気にしていないのは、

非常にヤバイことだと考えてください。

勝者に比べ、敗者が多いバイナリーの戦場で戦うの

であれば、常に正しい期待値を計算して、

あなたは**勝率何パーセント**から負け、

**お金を失うのか？**という「**損益分岐点**」

を算出する必要があります。

# 損益分岐点の算出を行おう

この損益分岐点をそもそも知らないまま  
アホみたいに  
たくさんエントリーして、マーチンして  
結果として大きなお金を失ってしまう。

そして追加入金を繰り返し、  
損を1円でも取り戻そうとして、  
物事を冷静に客観視できず  
怪しい教材やツールに手を出してしまい、  
また損失を出してしまう。

これは計算のできないバカ社長が  
お金を使いまくって多額の借金を背負って  
会社を潰す構造に、非常に似ています。

# 損益分岐点の算出法

損益分岐点は下の計算式で求めることができます。

損益分岐点をPとする

$$(ペイアウト率 - 1) \times 100 \times (P \div 100) - 100 \times (1 - (P \div 100)) = 0$$

以上の計算をまともにやると、

かなり面倒なので大体の損益分岐点を知りたい方は

$$100 \div \text{ペイアウト倍率} = P$$

でも求めることができます。

この式だと  $100 / 1.88$  で  $53.1914893$

と大体の損益分岐点の勝率を求めることができます。

自分の普段取引している業者や時間帯の種類のペイアウト率を元に計算してみましよう。

# 今勝てていないなら 最低限やるべきこと

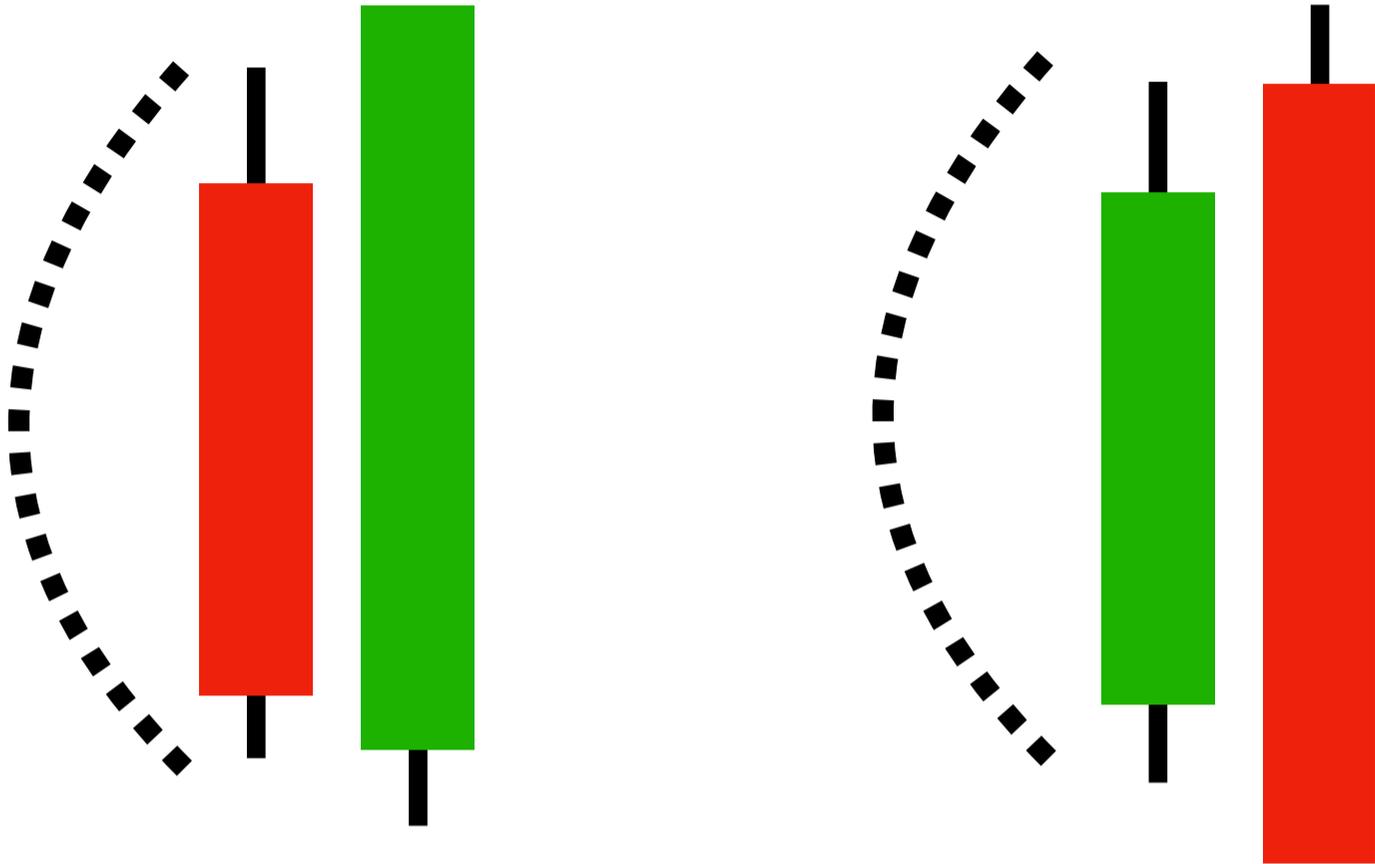
もしあなたが、今勝てていないのなら、それはあなたの行っていることが損益分岐点を下回っている手法であるということです。

**(=エントリーすればするほど損をする手法)**

一度自分の手法や優位性、相場環境を見直し、損益分岐点ギリギリ（勝率55%程度目安）でもいいから勝てるようになる。そのために損益分岐点を少しでも超える手法でエントリーするようになれるように、

最低限、自分の取引する時間帯の損益分岐点を知っておくようにしましょう。

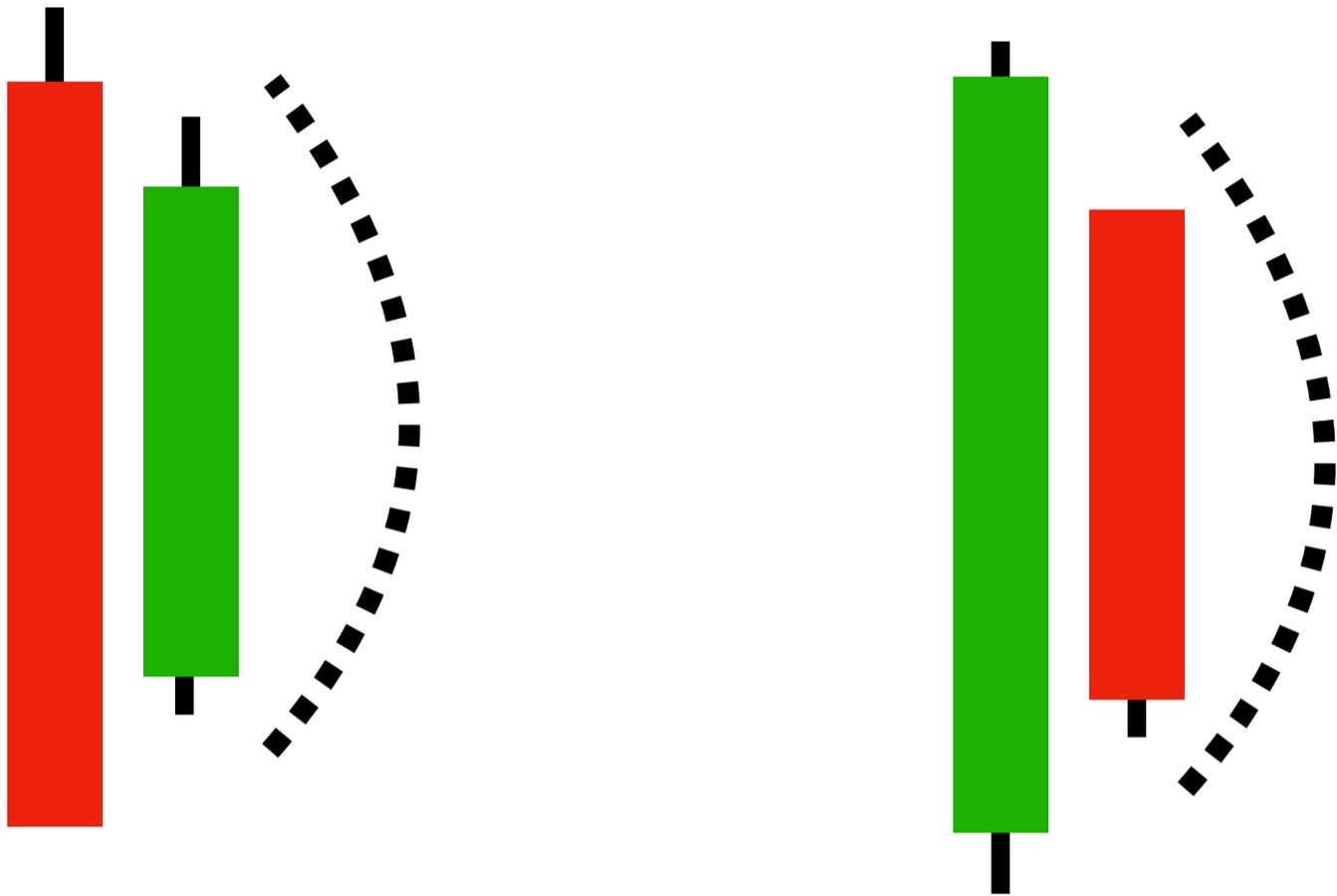
# アウトサイド（包み足）



アウトサイドとは、次足が前足を完全に包み込んでいる状態のことを指します。この場合、**前足の圧力を全て否定していることになり、強い圧力を示すローソク足になります。**

私は重要な価格帯で買いのアウトサイド（左）が出た場合はローエントリーを控えますし、売りのアウトサイド（右）が出た場合にはハイエントリーを控えます。

# インサイド（はらみ足）

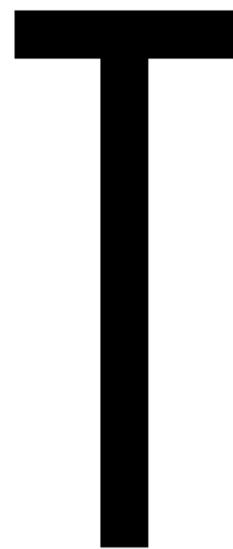
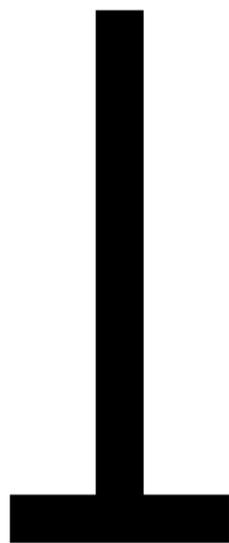
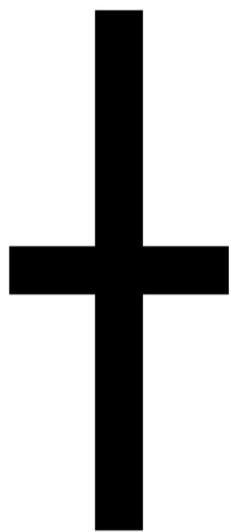


インサイドとは、前足が次足を完全に包み込んでいる状態のことを指します。

この場合、前足の圧力に対して下にも上にもブレイクせず圧力が明確でない状態。

イメージとしては、レンジ相場のようなものだとおっしゃってください。

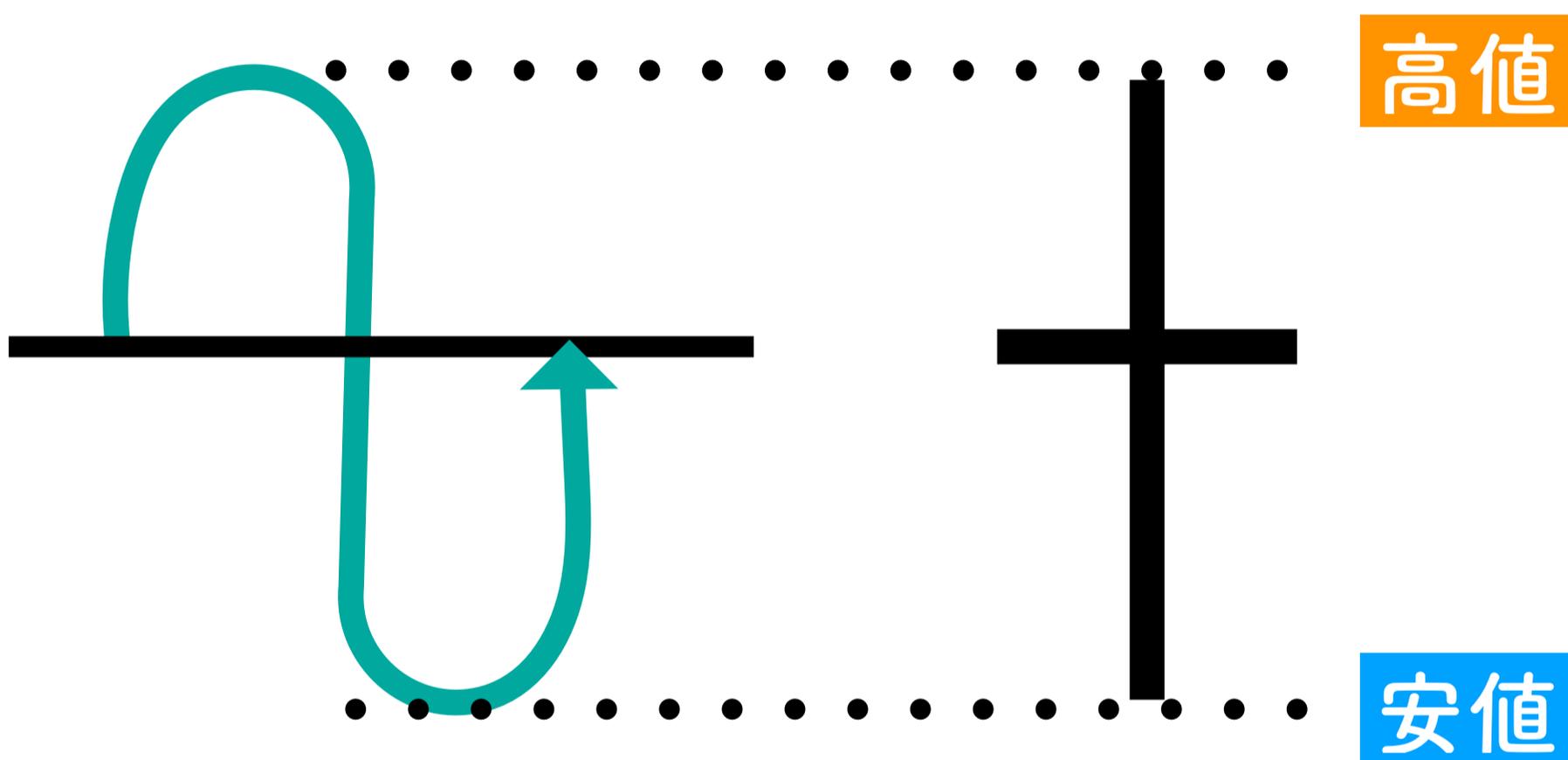
# 十字線、トウバ、トンボ



どれも実体のないローソク足です。  
実体のないローソク足について考えるには、  
特にただ形を見るだけではなく「**内部構造**」に  
着目する必要があります。

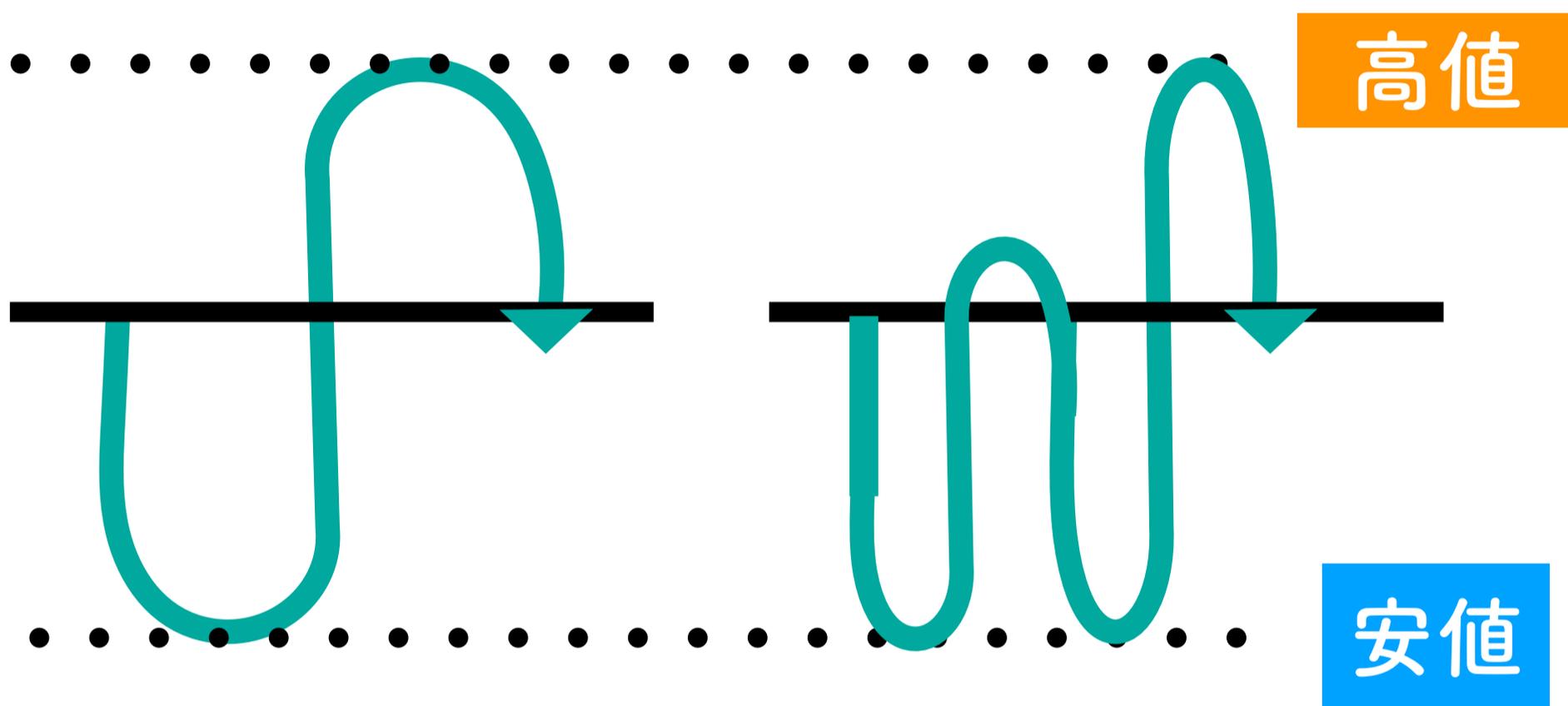
この内部構造を  
把握することを**プライスアクション分析**と呼びます。  
最初は難しいかもしれませんが、  
徐々に慣れていきましょう

# 十字線の内部構造



上 → 下 → 上

# 十字線の内部構造



下 → 上 → 下

下でダブルトッポ

→ 上 → 下

# プライスアクションと ローソク足の見方

これ以外にも十字足の内部構造として  
そもそも東京市場が開場前の6~9時などで  
出来高がなく、取引をされなかったから「十字線」  
が形成されたというパターンもあります。

同じ十字線でも上記の3パターンと、  
出来高がない場合の計4パターンで  
全く意味が異なります。

上記ではローソク足について、  
アウトサイド、インサイド、実体のないローソク足  
について3つ紹介しましたが、  
形で覚えるのではなく  
**全て圧力の構造ベースで考えてあげる**

# プライスアクションと

## ローソク足の見方

「なんでそのローソク足ができたのか？」

「ローソク足ができるまでに何があったと考えられるか？」

ローソク足の形だけを覚えてしまうと、  
形だけであれば、  
アウトサイド、インサイド、実体のない足というのは頻発するので、騙しに引っかかりやすくなります。

初期段階では難しいかもしれませんが、  
ここは必ず通る道です。

まずは重要な上記の3つだけで良いので  
チャートの中で今何が起きているかを

**「自分の頭で考えていきましょう」**

それが自分でチャートを見抜く力につながります

# チャートの単位

ローソク足が集まるとサイクルが形成される  
サイクルが集まると波が形成される  
波が集まると1つの局面が形成される  
局面が集まるとチャートが形成される

これらは私の考える「**チャートの単位**」になります。

優位性のある手法について考えたときに、  
自分の手法というのは、チャートの中の  
「**どの動き**」「**どの部分**」に対して**アプローチ**をかけて  
いるものなのかを明確化しましょう。

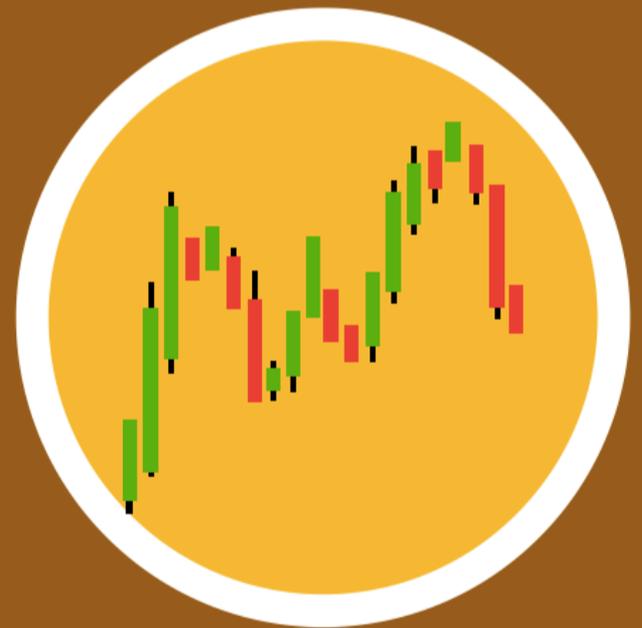
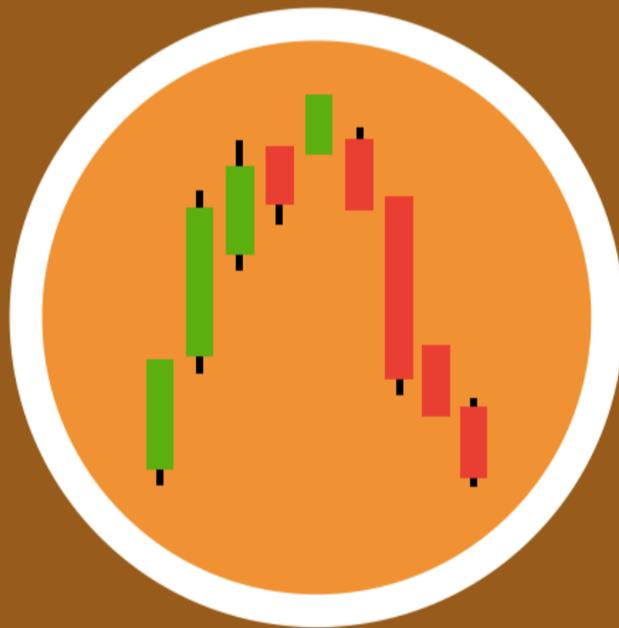
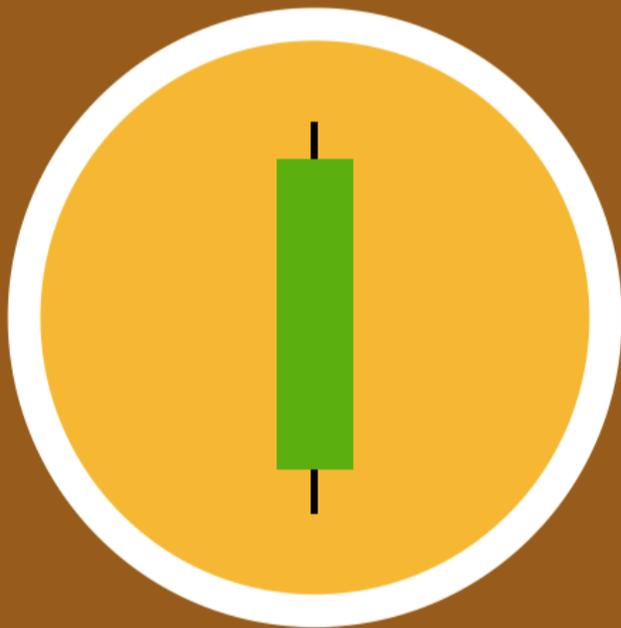
このチャートの単位をごちゃ混ぜにすると、  
本当に自分の手法が使えるものなのか  
わからなくなってしまう。

# チャートの単位

## チャートの単位

SAIKIX LINE TRADE

ローソク足 ..... サイクル ..... 一つの局面



(高値安値の切り上げ/切り下げ)

# トレードする時のマインド

最後にマインド編ということですが  
投資にマインドというのは  
**一切必要ないと思っています。**

原理原則として、投資で勝つ方法は  
自分の手法の理論値を出し、  
期待値を高いポイントにベットする

そこに気持ちや情熱というのは一切必要ありません。

ですが、バイナリーをやる上でバイナリーの仕組み  
を知っておくことは多変重要です。

なぜなら、バイナリーオプションというのは  
相反取引で、仕組み的にはカジノと同じです。

# バイナリー業者の仕組み

あなたが1万円勝てば、業者は1万円損をします  
あなたが1万円負ければ、業者は1万円得をします

これが一つの原理原則です。

もちろんカジノの方がギャンブル性が強く  
運が良くカジノで勝つ人もいます。

ですがなぜカジノはあんなに  
豪華で煌びやかな設備を  
保有できているのでしょうか？

**カジノを利用する大多数が負けているから**

カジノで勝つためには期待値を見極め  
期待値の高いところだけで  
ベットする必要があります。

# バイナリー業者の仕組み

バイナリー業者も同様

利用者が負けること前提に運営されています。

バイナリーの場合は、先ほどお伝えした  
あなたが1万円勝てば、業者は1万円損をする  
あなたが1万円負ければ業者は1万円得をする  
という相反取引の仕組みに加え

ペイアウト率や隠しスプレッド、  
約定拒否といったあなたを不利にさせる  
歪みが発生します。

バイナリーの場合はこうも言えます。

あなたが1万円負ければ業者1万円得をします  
あなたが1万円勝てば、業者は8800円損をします  
(+不利な条件でのエントリー)

# バイナリー業者の仕組み

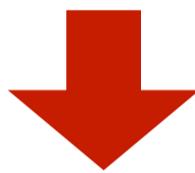
よって、そもそも何もしなければ  
バイナリーオプション取引で  
**あなたが負けること前提に作られている**  
ことを自覚しない限り、

期待値の見込めない  
生ぬるいところでなんとなくのエントリーを  
繰り返してしまい、  
結果として、資産を増やすために始めた  
バイナリーがやればやるほど  
資産を食い尽くすものになってしまいます。

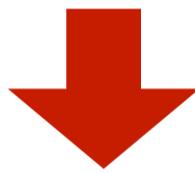
これを肝に命じてまず目を覚ましてください

# 勝てる手法ができるまで

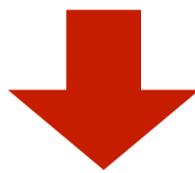
狙う相場の中の動きを決める



狙う相場環境を決める



チャートの単位ごとにアプローチ



時代にロジックを適応させる

# 投資は甘くないということ

勝てる人間の真似を行なったり、

同じ手法を使うことで

ショートカットすることはできたとしても、  
独学で優位性がある手法を確立させるためには、

途方もなく長い時間がかかり、

途中で多くの損失を出す可能性もありますし、

精神力が問われます。

これらを少しでも面倒だと思ふのならば

厳しいようですが、

相場からはすぐに足を洗った方が良いでしょう。

**お金と時間を失うだけです。**

ありきたりですが

「投資は楽しんで勝てるという甘い世界」

ではありません。

これは私が8年かけて相場の世界をかけて言える

一つの真実です。

# 投資は甘くないということ

ですが、一度相場への知識を身につければ、  
**一生モノの掛け替えのない財産となり、  
人生を大きく変えてくれます。**

途中、凍結して業者に全額没収されるなど  
道のりは大変でしたが、

私自身も、どうしようもない会社員生活から  
バイナリーによって人生を大きく一変しました。

そしておそらく一生お金に困ることはないでしょう

仮に今全財産を失ったとしても、  
どんなにひどい状態になったとしても  
投資で増やすことができる  
知識と自信があるからです。

まずは何と言っても  
**自分がしてきた勘違いを正してあげることが最優先**

# 投資は甘くないということ

バイナリーをやられている多くの方は

1日で資産を10倍にしてやる。

これで瞬間的に稼いですぐ仕事なんてやめてやる。

といったようなことを

思って始められている人が非常に多いです。

**その気持ちは自分自身が体験して  
資産を溶かし続けてきたからこそ  
痛いほどわかります。**

しかし優位性のある手法すら築いていない段階で  
資産を大きくベットしてしまうようなエントリーを  
するのは非常に危険です。

なぜならば、

**エントリー＝リスクの塊**

であるから。

# 投資は甘くないということ

どうしても欲が出てしまって  
変なところでたくさんベットしてしまう。

負けが込んでムキになってしまう。

これは良くある話です。

実際にこのレポートを読んで  
ギクっとした方もいらっしゃるでしょうし、  
逆に自分は違う、絶対にはないだろうと  
思っているも  
いずれ誰しもの道です。

ですが、

**1日で資産を10倍にする可能性より、  
資産を0にしてしまう可能性の方が10倍以上高い**

ということを覚えていてください

# 投資は甘くないということ

それを理解せずに、  
エントリー数、時間帯にこだわる。

逆張りロジック、順張りロジック  
自分の好きなロジックの雰囲気こだわる。

勝てないくせに細かい部分にこだわりすぎている。

バイナリーはゲームじゃない。

お金かけてゲームしたいなら、

ゲームセンター、パチンコ、カジノへ行けば良い。

勝つためには何をすれば良いのか？

真剣にチャートへ向き合い、リスクを減らして

勝てるところだけエントリーすれば良い。

# さいごに

いかにリスクの低いところのみで  
期待値を追いかけてエントリーできるか  
これを本質的に理解し、  
実際に感情を割り切って行動に移せるまで  
たくさんの時間がかかります。

投資の世界では  
一瞬の気の緩みで骨の髄まで  
しゃぶり尽くされます。

そうならないように、投資は甘くないということを  
常に認識しててください。

常に投資はリスクとの隣り合わせです。

# さいごに

これらを本当に理解して作られたロジックは  
世の中に何個あるのでしょうか。

独学でこれから学んでいくのならば  
長い時間をかけて、退場しないように  
決して欲をかかない強い精神力と共に  
相場を学ぶことが必要ですし、

すでに成功している人から学ぶのならば、  
その人のロジックは

**優位性のあるロジックなのか、**

**お伝えした危険信号の出ている販売者ではないか等**  
信頼できる人間から学ぶ必要があります。

投資においては

全てにおいて本質を見極める必要があります。

# さいごに

当レポートでお伝えしたことは  
すぐ稼げると思っている方や  
投資にたくさんの夢を抱いていた方からすると  
厳しいことばかりかもしれませんが、

**それを超えた先には  
とてつもない明るい未来が待っています。**

これは元々どうしようもない  
サラリーマンだった私が今や  
何度も口座を凍結されるほどに利益を出し、  
世界中どこにいても、時間に縛られることなく  
1日で私のかつて勤めていた会社の年収を  
稼げるほどへと成長しています。

**投資は、常に本質を見極め、理性で判断する。**

**そしてリスクを徹底的に削りさえすれば、  
勝ち続けることができるシンプルな世界です。**

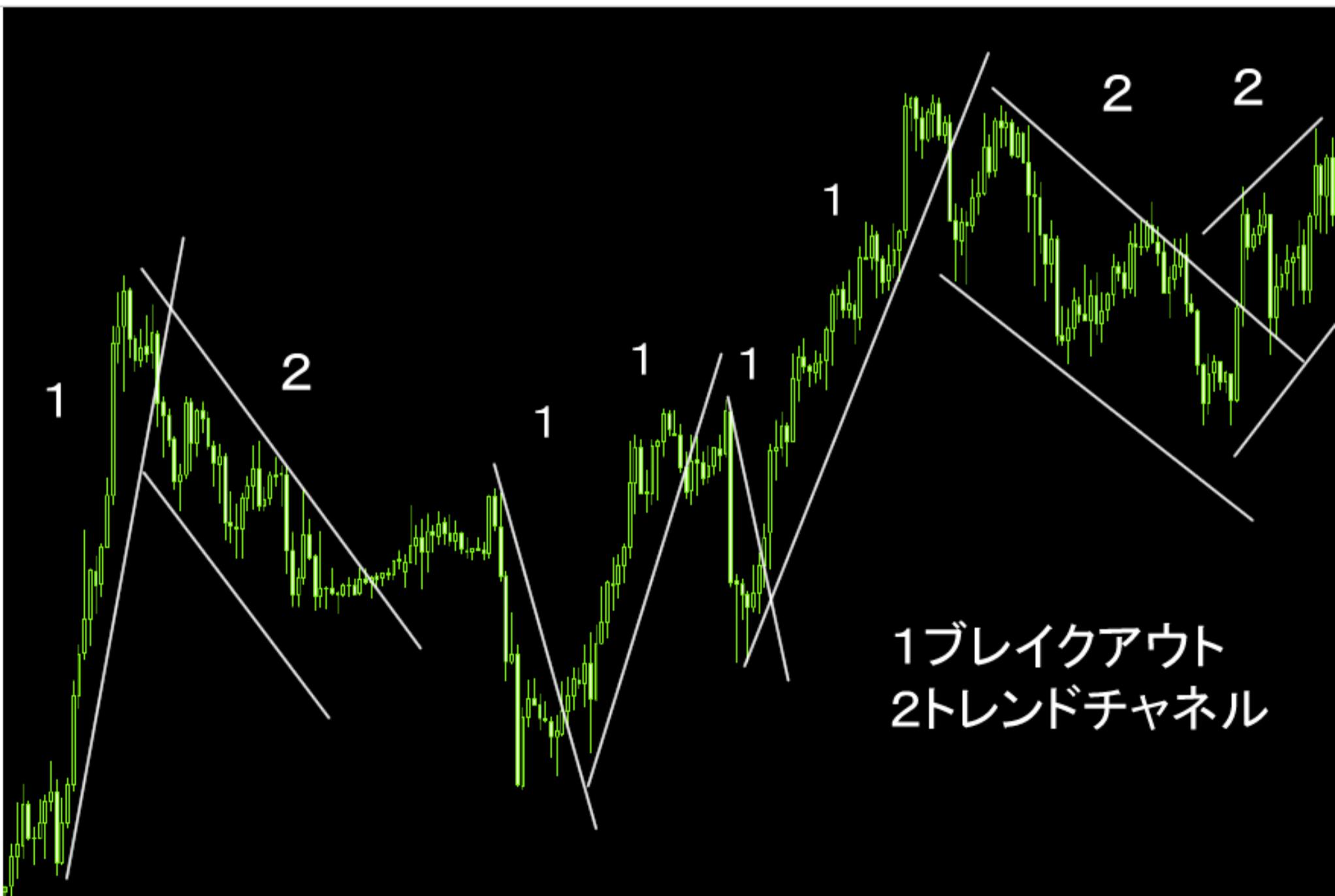
**あなたのご活躍を心より願っております。**

よくある質問

# 質疑応答①

## 質問

ブレイクアウト相場、チャネルトレンド相場  
の具体的な見極めがわかりません。  
この場合はどう判断したら良いのでしょうか？



回答は次ページ記載

# 質疑応答①

## 回答

そもそものトレンドチャンネル相場を  
判別する理由として、

**自分の手法の優位性を高め、**

**チャンネル内でのボラティリティが安定した相場でのみにエントリーすることが挙げられます。**

よって、画像のような場面も細かく指摘すれば、  
トレンドチャンネル相場とブレイクアウト相場の

繰り返しということが言えますが、

実戦レベルではある程度、

長期的に続いた相場を

チャンネルトレンド相場を認識しています。

# 質疑応答②

## 質問

2019年現在におけるハイローの傾向や特徴を教えてください

## 回答

これまでに確認できているのは

- ・ 2019年3月現在、2018年と比べ隠しスプレッド（1つの取引において同方向にエントリーする人の割合が傾いた場合に発生するスプレッド）の拡大
  - ・ 口座凍結になるまでの額の基準が厳重化（以前は大体1000万代前半だったが、2019年度は800万付近されるケースが増加）
- ・ また00秒エントリー（足の切り替わり時）に約定拒否が起こる可能性が増加  
となっております

# 質疑応答③

## 質問

初めまして。〇〇と申します。

私はこれまで

4年間以上バイナリーとFXをやっており、  
合計420万ほど教材費やツールに費やしています

最近、30万円で買った

〇〇ツール（他販売者のもの）も勝てていません。

今まで勝てていないのは、

私の理解不足が原因なのでしょうか？

# 質疑応答③

## 回答

いいえ。全くそんなことはありません。  
そのツールが損益分岐点を下回っているか  
再現性のない、無能なツールなだけです。

ツールを使う上で、一番大切なのは「**再現性**」です  
これは初心者であっても、上級者であっても  
老若男女問わず同じ条件でなければなりません。  
(優位性のあるロジック構築にはバックテストが不可欠のため)

そして、どんなにロジックが複雑なものであっても  
見た目をスッキリさせて使い易くすることは可能です。  
例えばBenefitの場合ですと、ローソク足だけでも  
実体の大きさの分析、ヒゲの長さの分析、角度の分析、  
プライスアクション分析を行う機能を備えていますが、  
これらの機能は全て1つの  
シンプルなインジケーターにまとめられています。

長期に使っていただく上で、どれだけ使い心地の良い  
ツールを提供できるかというのも、勝率を左右する  
大切なポイントだと考えています。

# 質疑応答④

## 質問

サイキックスさんは  
どのインジケーターは利用していますか？  
またどのようなトレードをしていますか？

## 回答

一回のエントリーが200万～程度であり、  
最大BET額の関係で連打する必要があるため、  
Benefitと合わせてラインによる  
トレードを行なっております。

Benefitのインジケーターと

EMA（指数移動平均線）62と200をいれています。

# 質疑応答⑤

## 質問

私は普段はインジなどを用いずに  
ライトレードを普段行なっています。  
チャートを見て良さそうなラインに引くも、  
すぐブレイクされてしまいます。  
どうすれば良いのでしょうか？

## 回答

ラインというのはそもそも意識されている  
価格帯に線を引くわけですが、  
価格帯にはそれぞれ役割がございます。

**ブレイクされるための価格帯**  
**反発されるための価格帯、**  
**攻防が起きてもみ合う価格帯**  
**一度抜けて大きく戻る価格帯**

そして自分のラインが  
どのラインであるのかを判断するためには、  
相場心理を考える必要があります。

例えば「前日の高値安値」は  
相場全体で意識されやすい場面で  
ラインを引く方は多いかと思いますが、  
**ただ前日高安の逆張りをやっても勝てません。**

なぜなら、高安はそのラインを  
ブレイクさせたい層もそのラインを死守したい層も  
**「意識している」**ラインだからです。  
反発しやすいラインを引くためには  
**反発する要因として、**  
**相場全体において思惑が一致するラインを**  
見つけなければなりません。

ただ意識されそう→「どう意識されるのか」

もしこれからも裁量トレードを続ける場合には  
それら分析を自身で行い、細かく期待値の算出を  
する必要があるかと思います。

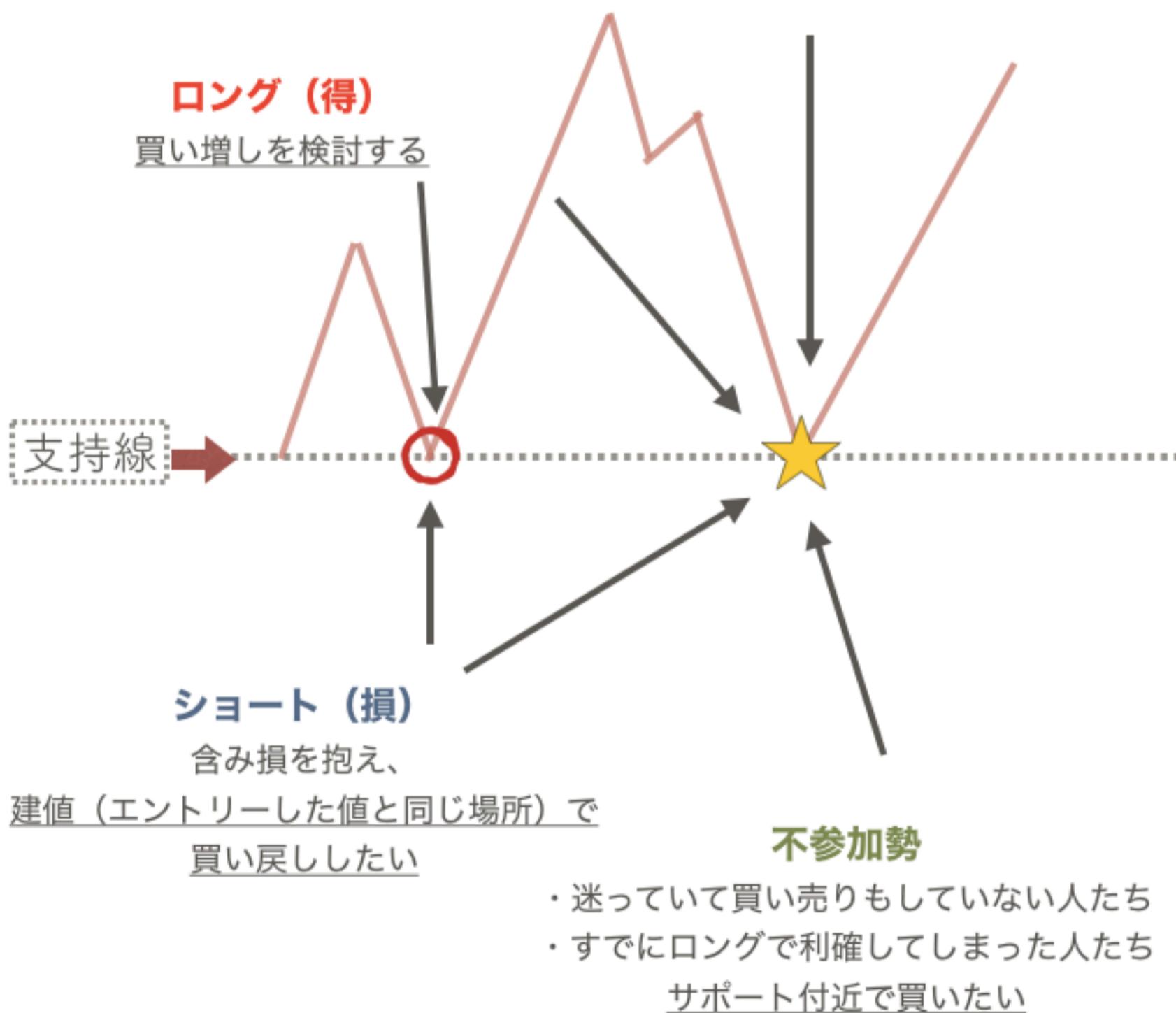
それが無理そうであれば、それらを機械的に代行し  
てくれるインジに頼るのも有りかと思います。

# 思惑が一致の参考資料

## 相場の原理原則について

(※あくまで一例)

全ての人間がこのポイントで買いたいと思う  
【**思惑の一致**】の発生



# 質疑応答⑥

## 質問

私はバイナリーを初めて2年になる初心者の者です。

この2年間、バイナリーを勉強…というよりも、

ツールコレクターになり、

資金も100万以上は溶かしてきました。

いつときは、裁量を学ぼうと必死になりましたが、

素人の理解なんて知れていて、

わかったつもりになってトレードし、

惨敗の経験もあります。特に矢印型のツールはたくさん

手に入れましたが、全然ダメでした。

ツールに関して、お聞きしたいことがあるのですが、

サイキックスさんの出されているBenefitは

矢印型のタイプのツールでしょうか？

そしてこんな私でも使えるツールに

なってますでしょうか？

## 回答

# 質疑応答⑥

Benefitは矢印型のインジではございません。  
Benefitでは先行指標型のインジ（ライン）を  
採用しているため

- ・ 大体のエントリーラインが事前に把握できる
- ・ インジケーターによる相場認識でチャンスの相場でない  
とインジが表示されない設定になっていて  
表示している時のみチャートを見れば

良い仕様になっております。

このことから、矢印等サインが  
出るタイプのものとは比べて

- ・ 張り付く時間を減らすことが可能にしている
- ・ エントリーの出遅れを減らすことができる  
といった利点がございます。

また業者、通貨ペア、エントリーの条件が  
明確に全て決まっており、

老若男女、初心者経験者関係なく誰でも同じエント  
リーになりますので問題なくお使いいただけます。